

編集後記

手袋を買いにならぬ、キツネに手袋取られた！

こんにちは。編集幹事の関口です。遊星人12月号の編集作業は10月末です。私の住む旭川ではこの時期、朝の気温は一桁前半台まで下がります。耳あてして、霜降枯れ出した家庭菜園の片付け作業に追われます。旭川はなんと市街地にキタキツネが現れます。昨夜も飛び出して来た子ギツネを轢きそうになりました。野良犬ではなく、私の菜園も巡回路にしているヤツがおり、パセリ苗にマーキングしていきます。

数年前、朝の菜園作業中、若いキタキツネがこちらに近づいて来ました。イヌ好きの私はついカワイイなと思ってしまい、黙って見つめていました、ほんの数秒程でしたがヤツはいろいろと嗅ぎ回った後、ついに分厚い豚革の私の手袋を嗅いだ瞬間、それをくわえて逃げ出しました。とっさに追いかけてましたが、ヤツもスピードを上げて駆け出しました(そうかヤツ

は革手袋狙ってたのか)。隣家の軒下を抜けて(私は不法侵入状態で)ヤツは石狩川沿いへと逃げ走る(当然、人間は追いつかない)。そこを(川沿いの道を)自転車で通りがかった女子高生二人がヤツに気づく。「今何かくわえてたよ!!」(そう、それ、私の手袋です...心の声)。作業者量販店で買った重作業用。宇宙研では液体窒素汲み作業用に使われています。天文台でも。(私も観測装置屋さん)。サザエさんは、お魚くわえたドラネコを追いかけますが、僕は手袋くわえたキタキツネを追いかけてました。「母さん、僕のあの手袋、どうしたでしょうね--人間の証明」(お粗末...)

遊星人編集後記、2年間好き勝手な話題で書かせていただきましたが、編集幹事、次号からは本会最優秀研究者賞の東大野津翔太さんにバトンタッチ。ご兄弟も天文学者!(関口: 今号まで)